

TDU FormulaSAE Project

Formula SAE Australasia 2009 参戦報告



総合成績 16位 (21チーム中)

コスト 8位

デザイン 13位

プレゼンテーション 19位

スキッドパッド 未出走

アクセラレーション 未出走

オートクロス 未出走

エンデュランス/ リタイア
フューエルエコノミー

当チームは、2009年12月10日～13日に、オーストラリア ヴィクトリア州 ヴィクトリア大学のキャンパスで行われた Formula SAE Australasia (オーストラリア大会) に参戦しました。当チームにとって6回目のオーストラリア大会は、Formula SAEの各大会で優勝を飾る強豪ぞろいの、レベルの高い大会でした。

今回のオーストラリア遠征ではこのハイレベルな大会を制するために、画期的な新車両を投入する予定でしたが、開発の遅れにより、新規部品のテスト不足、内作部品の製作工数不足が発生し、投入を断念しました。そのため今大会では、開発工数削減のために、前年度車両の部品を一部流用し、低重心をメインコンセプトとした新車両RF06を投入しました。RF06は前年車両に比べ、低重心で軽量な足回り、新設計の低重心高剛性のフレームを導入した車両です。しかし、ここでも開発の遅れが生じ、テスト走行不足という問題を抱えたまま大会を迎えました。

大会前日、車両発送前に終わらなかった部品の組み付け作業中、重要なブレーキ部品を日本に忘れたことが判明しました。現地でブレーキ部品の代用品を新作するため夜通しで作業を進めたものの、動的イベントであるスキッドパッド、アクセラレーション、オートクロスに間に合わず、エンデュランスのみの走行となってしまいました。大会のメインイベントであるエンデュランスでは、大会初出場の新井がテスト走行不足にもかかわらず、優勝チームと同等タイムの50～51秒台でコースを周回しましたが、9周目で痛恨のスピン、エンジンを再始動できず、結果はリタイアとなってしまいました。しかし、優勝チームと同等に戦えるマシンポテンシャルがあることを証明することができました。

今大会は開発スケジュール、部品の管理方法等、様々な問題点が明らかになりました。当チームが次に挑む大会では、今回貴重な体験ができたこの8人が中心となって、明らかになった問題点を改善していきます。そして、すでに手元にある画期的なオリジナル部品と共に、新車両RF07を投入し、優勝を勝ち取るべく全力を尽くして挑みます。

今回の遠征を無事に終了し、多くの収穫を得られたのも皆様のご声援があったからに他なりません。今後も皆様のご期待に答えられるように全力で活動に当たりますので、引き続きご声援をお願いいたします。

